

第75回火山噴火予知連絡会・幹事会議事録

日 時：平成9年6月5日（木） 12時00分～13時00分

場 所：気象庁 観測部会議室（6階）

出席者：井田，岡田（弘），浜口，藤井（敏），渡辺，藤井（直），石原，藪内（国土庁：代理），森（文部省：代理），濱田

事務局：三上，塚越

今回の幹事会は学識経験委員の委嘱更新時期にあたり，新任期の幹事指名はこのあとの定例会で行われるため，平成9年3月まで（前任期）の幹事で開催された。

1. 委員の交代，新委員の紹介

以下のとおり委員の交代について紹介された。

小林委員→須藤委員（京都大学）

科学技術庁：上原委員→岩淵委員

海上保安庁：西田委員→土出委員

気象庁：澤田委員→濱田委員

溝上臨時委員→武尾臨時委員（東大震研）

2. 火山噴火の長期的な予測に関するワーキンググループの経過報告

長期予測，活火山，火山情報の各サブグループの経過報告があった。

3. 予知連資料の整理（データベース化）について

事務局から次のような考え方が示された。

前回までの議論で未公開資料の扱いなど，コンセンサスを得ることが困難な問題がある。また，ホームページの作成には技術的困難や労力の問題がある。このため数値データなど取扱の簡単なデータからデータベース作りを始める。数値データはテキストファイルとする。当面，気象庁資料からデータベース化するが，順次提供されたデータも取り込む。本データベースは予知連関係者限つてのみアクセス可能とする。

これに対し，火山情報など一般にニーズが高い情報を気象庁がホームページで公開する方向へもって行けないかという要望が出た。

これと関連して，噴火予知連絡会の会報のCD-ROM化は，いずれ実現する方向で考える。

4. 噴火予知計画レビューの経過報告

6月12日に地震火山部会で噴火予知特別委員会の案が部会了承案となり，6月27日に測地学審議会総会があり，案をとり報告される予定であるとの報告がなされた。

（以上）